

学 習 指 導 案

科 目	ビジネス基礎	単元名	第2章 経済と流通の基礎
単元の目標	経済のしくみを学び、社会の変化とビジネスの発展との関わりを考え、経済活動と流通を理解する。		
本時の主題	グローバル化について考察する。		
本時の目標 (評価規準)	①グローバル化とはどのような状態かを理解し、その要因は何かを事例を用いて積極的に考えることができる。 【関心・意欲・態度】		
時間	指 導 内 容 ・ ね ら い	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 ・ 観 点 別 評 価
導入 5分	質問1 「グローバル化」という言葉を聞いたことがあるか？ ○本時に扱う「グローバル化」について、生徒の関心をひく	○新聞、テレビ、雑誌などでも多く出てくる用語であり、ビジネスの世界でグローバル化の重要性が高まっていることを認識する。	○本時のテーマ「グローバル化とはどのような状態かを理解し、その要因は何かを事例を用いて考えよう！」を示し、学習目標を明確にする。 ○生徒に自由に発言をさせ、つぶやきを拾っていく。
	質問2 「グローバル化」とは何か？さらに「国際化」と「グローバル化」は同じ意味か？ ○グローバル化の定義を確認させる。 ○グローバル化と国際化の違いを理解させる。	○隣の生徒と、自分が考えるグローバル化の意味について交流し、ワークシートに記入する。 ○グローバル化の定義の板書を、ワークシートに記入する。	○ワークシートを配布する。 ○意見交流時間を2分間とり、積極的に交流ができるように机間指導を実施する。 ○英語表記を確認させる。 ○最大の違いである「地域密着型商品づくり」を特に強調する。
展開 40分	質問3 なぜA社やB社は海外進出を進めるのか？ ○資料「1」のA社の事例を用いてグループで、グローバル化の要因について検討させる。	○グループ単位で、なぜA社やB社は海外進出をするのかを考え、自分の考えを全て付箋に記入していく。 ↓ 続いて付箋の内容をグルーピングし、タイトルをつける。 (タイトルを各自のワークシートにも記入する) ↓ グループで1つ、クラス全体に発表するタイトルを、画用紙に記入する。 ↓ グループ代表生徒が前に立ち、グループの意見として発表し、説明をする。	○ブレインストーミングとKJ法を利用したグループワークを実施する。 その際に、 { 1. 発言発案に批判をしてはならない。 2. アイデア発想は自由奔放にする。 3. 発言・アイデアの量を求める。 4. 他人のアイデアのヒントにした改善便乗を歓迎する。 以上4つのルールを守らせる。 ○机間指導を実施し、グループワークの進行がスムーズにいくように助言をする。 [評価] 目標① ・グローバル化とはどのような状態かを理解し、その要因は何かを事例を用いて積極的に考えることができるか。【関心・意欲・態度】 [評価方法] グループ活動への参加 挙手・ワークシート
	○グローバル化の要因を板書し、まとめる	○ワークシートに板書の内容を記入する	○ワークシートを記入させる ○ワークシートを回収する。
まとめ 5分			